

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社イトーヨーカ堂		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒102-8450 東京都千代田区二番町8番地8	
本票作成	部署名：明新メンテナンス株式会社（イトーヨーカ堂機械設備常駐管理会社）				
主たる業種	分類コード	56	業種名：各種商品小売業		
事業の概要	百貨店				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	イトーヨーカドー岡山店		岡山市北区下石井2-10-2	
	②	食品館倉敷店		倉敷市寿町12番2号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 28)年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	6,767 t CO ₂	5,208 t CO ₂	6,429 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 28)年度排出量
	①	イトーヨーカドー岡山店	4,536 t CO ₂
	②	食品館倉敷店	672 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 27 年度 ～ 平成 31 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(28)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 10.6 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入) ※日本チェーンストア協会統一の指標である原単位を指標としました	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
	延べ床面積×年間営業時間 (50.934千㎡×5.962千h=303.67)	基準年度	(28)年度	目標年度
		15.512	17.150	14.737
	t CO ₂ /(千㎡×千h)	t CO ₂ /(千㎡×千h)	t CO ₂ /(千㎡×千h)	

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 28 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

計画期間内にて新店の開店や閉店、年間営業時間の変更が生じるため、該当の計画期間より日本チェーンストア協会統一の指標を原単位の指標としております。
 基準年度の指標に対しては、延べ床面積の増減はなかったものの、食品館倉敷店が平成28年8月31日に閉店、イトーヨーカドー岡山店が平成29年2月28日に閉店と県内の2事業所共に閉店となりました。2事業所共に当該年度の排出量が減少となっておりますが、原単位当たりの排出量は悪化の結果となりました。悪化となった要因としては、原単位の指標を2事業所の合計で設定しており、原単位に対する構成比が異なることから、2事業所の閉店時期が異なったことが影響しております。(延べ床面積は変わらず、年間営業時間のみが大幅に減少したため。)

【推進体制】

株式会社イトヨーカ堂は、セブン&アイHLDGS.の総務部環境と連携しながら、グループの方針に基づく環境保全活動計画を策定するとともに、テーマ別に設定した担当部門が各店舗への教育・管理に取り組みながら「目標の設定（Plan）、実行（Do）、検証（Check）、改善（Action）」というサイクルに沿った環境マネジメントを徹底しています。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
イトヨーカドー岡山店 食品館倉敷店	<p><平成28年度実施分></p> <p>○主に以下の運用対策等を実施して温室効果ガス排出削減に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店内基本照明調光設備による適正な照度管理 ・バックルーム照明のこまめな消灯及び部分的な間引き ・営業時間前後の不要照明の消灯 ・看板及び外灯等の点灯時間を季節別に管理 ・自動販売機照明の夜間消灯 ・冷暖房設定温度の見直し ・空調運転開始時間の見直し及び予熱による停止時間の短縮 ・営業時間外は冷ケースにナイトカバーを実施し冷凍機負荷を削減 ・デマンドコントローラーによりピーク電力低減及び電力平準化時間帯の電力需要抑制 <p>上記の対策以外にも社内独自の節電ガイドラインを設定し、全店舗共通の基準にて温室効果ガスを把握及び分析することにより対策や設備導入の検討に役立てております。</p>
イトヨーカドー岡山店 食品館倉敷店	<p><今後実施分></p> <p>岡山県内にて事業活動を行う2事業所が閉店となったため、平成29年度以降に事業活動を行う事業所が全て廃止となりました。</p>

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	有	イトヨーカ堂はセブン&アイ・ホールディングスの事業会社として植林活動に限定することなく健全な森林づくりに必要な間伐や下刈り、樹種転換等の森林整備活動に積極的に参加しております。また、間伐による木質材をグループ内の店舗資材や事務備品として使用するほか、商品化することで国産木材の活用も推進しています。

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	有	日照条件、立地を踏まえて太陽光発電パネルを大型商業施設アリオを中心に14店舗に設置しております。また、風力及びソーラー発電による外灯を新規OPEN店舗に積極的に採用しております。その他、雨水をためて、トイレの雑用水や植栽への散水に活用するとともに、降雨センサーによる自動感知にて植栽への無駄な散水を防止する装置を20店舗に導入しております。

【その他特記事項】

当社の環境対策の取組については、ホームページにて公表しています。

<http://www.itoyokado.co.jp/company/iycsr/promise5.html>

全頁の「削減状況の自己評価」にも記載致しました通り、平成29年2月28日のイトヨーカドー岡山店の閉店をもちまして、県内事業所における排出活動が全て廃止となりました。